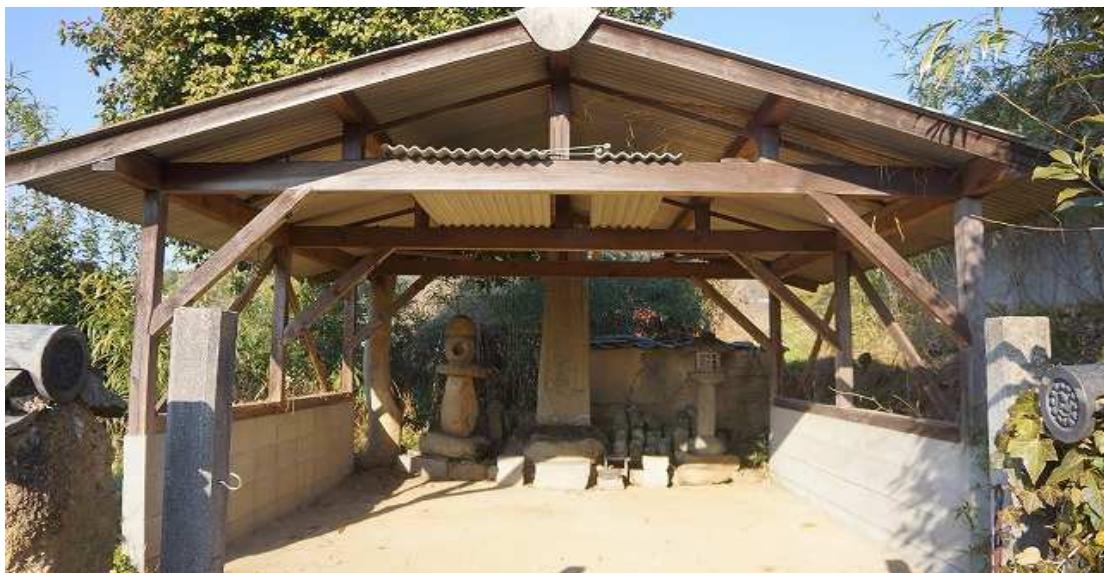


(2) 番神様 (ばんじんさま)



- 鎮 座：岡山市中区円山792 地先

- 由緒来歴

「ばんじんさま」と読みます。

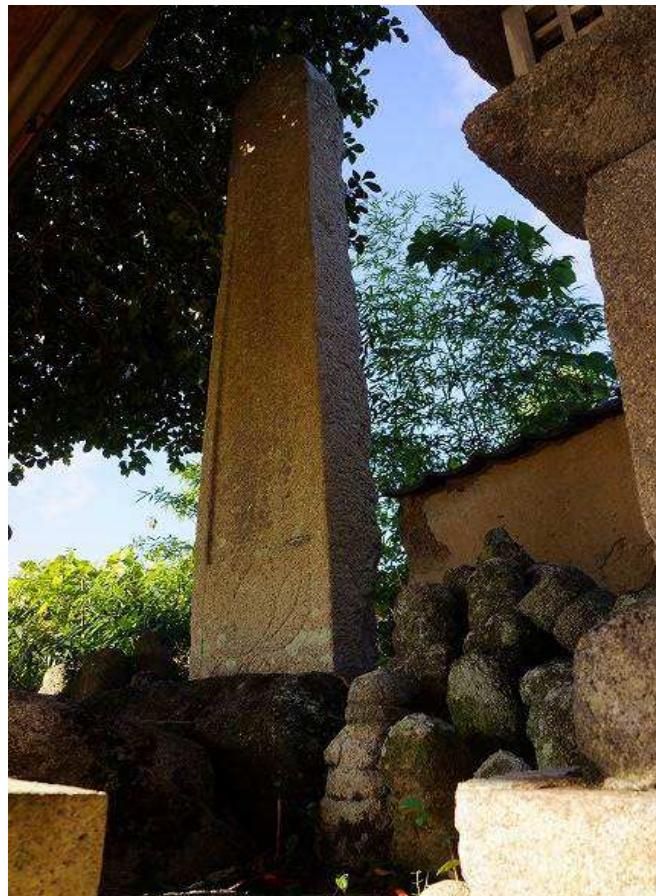
池田光政の寛文年間、不受不施派は禁教となり、僧徒は追放され、信徒は改宗させられました。しかし、信仰に厚い人々が番神様を建てて、密かに信仰を続けて今日に及んでいます。

円山の法華題目石のあるところを山に登っていくと、住宅の間にはさまるようにして「南妙法蓮華経」と書かれた題目石と灯籠2基が建っており、まわりには小さな五輪塔がたくさん置いてあります。これは題目石をお守りしている仏様です。このあたり一帯は昔円山城が建っていたところらしいです。

(岡山市立富山公民館ホームページ「歴史と自然」より引用)

番神まつり（4月27日・9月27日）

春、秋2回、番神まつりをしていた。やり方は妙見まつりと同じだったが、お接待はなかったように思う。今は、春は番神まつりのときに、妙見まつりもいっしょに行い、秋は妙見まつりのときに、番神まつりもいっしょに行っている。おまつりの日も勤め人が多くなったので、それぞれのおまつりに最も近い日曜日でしているが、だれも参らなくなつた。今は妙楽寺のお上人さんに、来て拝んでもらっている。 大正10年生・男性・円山
(私たちの富山「今聞いとかにやあおえんがな」より引用)



南無妙法蓮華經

236



50

・番神様 題目石 寸法図（単位：cm）

・材質：花崗岩

(3) 円山の題目石



- ・鎮 座：岡山市中区円山798地先

- ・由緒来歴

お石塔まつり

公園の前に小さいほこらがあって、大きな自然石に、「南無妙法蓮華経」と書いたのが建つとったが、そこで日蓮さんのおまつりをしていたんじゃ。

日蓮さんの題目石のところへ、よう行きょううった。

夏に、題目石のところには、初盆の家からちょうどちんをもらってきてぶら下げたんじゃあ。日蓮宗の檀家だけの5、6軒が回り持ちで、その年の当番の家が主体でやりょううた。みんな集まって、お経をあげとった。子どもがようけ来るから、お菓子をぎょうさんこうといて接待しとった。

明治33年生・男性・円山

(私たちの富山「今聞いとかにゃあおえんがな」より引用)

- ・お大師様北の題目石 寸法図（単位：cm）

